

## Q.「堆肥」のすごい力

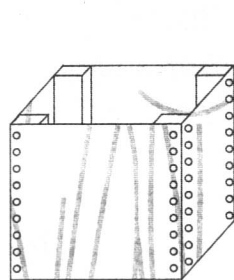
A.堆肥は、作物栽培の強い味方。土にまぜれば、作物の食べ物（肥料）にもなるし、土を、水はけの良いふかふかのベツトに変えてくれる働きもあるんだ。土の中にはものすごくたくさんの小さな生き物（微生物）がいて、作物の成長を助けてくれているんだけど、その微生物の働きを助けるのが堆肥。簡単にいうと、堆肥は「土の食べ物」と言ってもいい。堆肥を作るのは時間がかかるけど、そんなに難しくない。ぜひ、挑戦してみよう。

### <堆肥の作りかた>

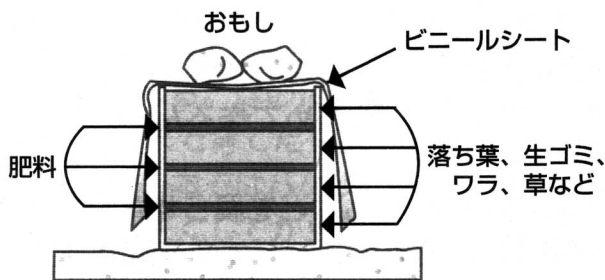
用意するもの：落ち葉（針葉樹・いちようはだめ）、生ゴミ、ワラ、草、肥料（石灰チツソ、油かす）、水、スコップ、1m四方くらいの大きな木の板4枚、角材4m、釘、ビニールシート

※堆肥は、夏に作り始め、次の年の春にできあがるよ。

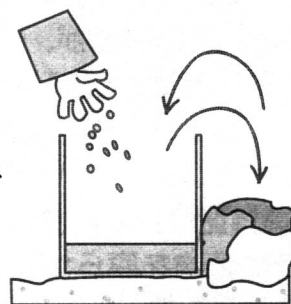
①板と角材を組み合わせて、図のような枠を作る ②落ち葉、生ゴミ、ワラ、草を枠に入れ、水をかけながら足で踏み固める（厚さ20cmくらいまで）。③肥料をぱらぱらっと、ふたつかみほどの上にまく。④これを繰り返し、枠のふちまでつみあげる。⑤その上にビニールシートをかぶせ、おもしろをする（風で飛ばないように）⑥春までのあいだ、1ヶ月ごとに、枠の中の堆肥を一度外に出し、もう一度つみなおす。このとき、②から⑤のように、肥料も一緒につみあげる。→春になれば、完成！



《木の枠》



※3~4日たつと、熱が出てくる



一度、外にだし、またつみあげる  
(一ヶ月に1回やる)

## Q.病気・虫がでたらどうする？

A.栽培を始めると、病気や虫の被害はつきもの。まず大事なのは、「病気にかかりにくい栽培をすること。実際には、以下の点に気をつけよう。

○株と株の間をなるべくあけてやる ○古い葉や枯れた葉はとってしまう ○土を極端に乾燥させない。また、水をやりすぎない ○病気に強い種類（品種）を選ぶ ○草むしりをマメにやる ○虫や虫の卵を見つけたら、つぶす。

農家では、「農薬」の力でなおしたりする。でも、農薬はちゃんとした知識がないと危険なんだ。みんなも、病気になった時クスリを飲むと思うけど、クスリもそうだよね。農薬を使うのなら、農薬に詳しい専門家の意見を聞いてから使おう。

どうしても治らないようだったら、最後の手段。どういう風に作物が枯れていくのかよく観察しよう。最後までみとどけてあげる、本当は、これが一番大事なことなんだと思うよ。